

心に残る文化財子ども塾～松江市立城北小学校～

1. 活動の概要

6月26日(木)、松江市立城北小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに埋蔵文化財調査センターの職員から、地域の遺跡について話を聞きました。校区内にも多くの遺跡が存在すること。その代表として薬師山古墳を取り上げ、古墳の概要や持参した出土遺物について説明しました。

次に、埴輪について話を聞きました。埴輪には、円筒埴輪や人物、動物、家形など、様々な種類の埴輪があることについて学びました。

その後、「はにわ作り」を行いました。胴体や頭を作り、貼り付けるまでは、皆うまくできました。胴体を作ることに苦労していましたが、それぞれの児童が様々な文様や飾りなどをつけ、個性的な作品が完成しました。

先生方のアドバイスを受けながら、それぞれの児童が楽しんでにはわ作りを行いました。

2. 活動の様子

1)ご近所の遺跡、そして埴輪について知る



2)古代体験活動～はにわ作り～



イメージ通りにできるかな？



個性的な作品がたくさんできました

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・いろいろな遺跡の発掘がとてもしくなった。
- ・ほかの城北小の近くの遺跡とかを詳しく知りたくなりました。
- ・今度の夏休みに埋蔵文化財調査センターに行ってみたいです。
- ・ほかにどんな形の埴輪があるか知りたいと思いました。
- ・(ほかに体験したいこと)木を削って椅子を作りたいです。
- ・昔の人の埴輪の作り方を体験してみたい。
- ・昔の物はどのような素材で作られているか知りたい。
- ・人の立ち位置によって埴輪の大きさが違うことがわかりました。
- ・埴輪を焼いてみたい。
- ・古墳がどのような手順で作られたか知りたいです。
- ・埴輪を作るとき、埴輪の顔を工夫したり形を整えたりしたことがとても楽しかったので心に残りました。
- ・校区内の古墳があった場所に行ってみたいです。でも親と校区外の所も調べて行ってみたいです。
- ・ほかの城北小の近くの遺跡とかを詳しく知りたくなりました。
- ・古墳調査をしているところを見たい。
- ・埴輪の細かいところを作ったりするのが楽しかった。
- ・もっと昔のことをたくさん知りたいし、もっと昔のお墓のことを知りたいです。

2)担任の先生から…

- ・子どもたちが住む地域から出土した実物の遺物が見られて、子どもたちはとても驚いていた。
このことを通して、歴史への興味関心が高まった。
- ・楽しんではにわ作りを体験し、今後の学習への意欲が高まった。
- ・近くで遺物を見られるとよかったです。(人数が多くて難しいですが)

3)埋文センターから

ちょうど社会科で古墳時代を学習する直前、直後のタイミングでしたので、学習の予習・復習として役立ててもらえると嬉しいです。皆さんが完成させた埴輪にはそれぞれの個性が爆発した楽しい作品ばかりで、見ていてパワーがもらえました。ありがとうございます！

風土記の丘や古代出雲歴史博物館にも足を運んで、いろんな埴輪を見て欲しいです。